



# ホンキデアレ

校長室だより

NO. 13

令和3年3月1日

豊橋市立牟呂小学校

## 出前講座「ええじゃないか教室」が行われました

2月22日(月)に、豊橋商工会議所青年部の方を講師に招き、4年生を対象に「ええじゃないか教室」を開催しました。商工会議所の青年部の方々は、仕事をもちながら、豊橋市がよりよい町になるよう活動されております。「ええじゃないか教室」はその一環で、豊橋が発祥の地とされている「ええじゃないか」を知ってもらおうと市内の小学校を訪問しています。牟呂八幡宮の「おれまき」にも参加されています。



「ええじゃないか」を踊るときの衣装をつけて行脚隊が登場したり、「豊橋ええじゃないか物語

『空から奇跡が降ってきた』のスライドを使ったりして、当時の様子をイメージしやすいように説明してくださいました。

子どもたちは、「150年以上前の昔でおどろきました。」「空からお札が降ってきて、奉納したら大豊作になるなんてすごい。」と感想を発表していました。

今年は、例年行ってきた牟呂八幡宮での「ええじゃないか踊り」の発表が、コロナ禍でできなかったのが、今回の学びを今後の活動に生かしていきたいと思います。

## 6年生が、「牟呂の民話」について学びました

豊橋の民話を語りつぐ会が発刊した「片身のスズキ」という民話集があり、市内全域から五十三の民話が載っています。その中に、牟呂にかかわる「海に消えた皇子」という話があります。1月に、中日新聞の「あいちの民話を訪ねて」のコーナーでも掲載された有名な民話です。皇子とは、開元親王のことで、校区には、真福寺、真裏口公園、大海津公園、市杵嶋神社、熊太郎社など、この民話に由来のある場所がたくさんあります。



2月19日(金)に、図書ボランティアの岡田さんが卒業する6年生のためにと、紙芝居をつくって読み聞かせをしてくださいました。また、画家の浦野恵美子さんが真福寺に奉納されている「海に消えた皇子」の絵を、紹介してくださいました。

卒業を前に、牟呂に伝わる歴史のある話を聞くことができ、自分たちが暮らしている地域に誇りや愛着を感じることができました。

## 「6年生を送る会」を学年ごとに行います

毎年、体育館で開催していた「6年生を送る会」ですが、密を避けるため、3月1日から1週間の期間に、各学年で6年生に感謝の思いを伝える出し物をしたり、一緒に活動したりします。特に5年生は、最高学年に向けて、6年生から牟呂小学校を引っ張ってきたバトンを引き継ぐ大切な機会です。思い出に残る交流や引き継ぎができることを期待しています。

